

中山の園 企画調整室・総務部

経営方針

施設・事業所の運営が円滑に実施できるよう、グループ内の連携を図るとともに、地域や利用者のニーズに対応するため、支援スキルの向上や障がい特性の理解を深めるための多様な研修を実施し、セーフティネットの役割を果たします。

障がい者の地域生活を支援するため、関係機関や団体等と連携して各種相談に応じる等により、地域福祉を推進します。

財務・会計事務等に必要な知識の習得に継続して取り組むとともに、適正かつ効率的な予算執行、施設の維持管理、敷地環境の保全、感染症予防と対応、食生活・健康管理の充実を通じて、中山の園グループ全体の適切な施設運営を行います。

■ 中山の園 企画調整室

[改築整備、入所等利用調整、効率的経営]

■ 中山の園 総務部

[中山の園グループ全体の予算・決算管理調整、建物・設備の維持管理、給食の提供、利用者の健康管理等]

■ 相談支援事業所「中山の園」

[障害児相談支援、特定相談支援、一般相談支援]

取り巻く環境

施設利用者の高齢化への対応は行っているが、施設の構造や設備が十分に整っておらず、施設そのものも経年劣化しているため、生活に適切とは言えない生活環境となっています。

経年劣化に対応し、既存建物・設備の必要な補修や改修を進め、利用者へのサービスの提供に係る安心・安全な環境の整備が必要です。

利用者の高齢化に伴い、通院支援体制の確保、食生活・健康管理の充実、栄養管理体制の構築等を継続する必要があります。

新型コロナウイルスを含む感染症については、ウイルスを持ち込まないための基本的な対策の徹底が必要です。

多様な利用者のニーズに幅広く対応できるよう、職員の支援スキルを高めるなど専門性の向上が求められています。

事業の重点事項

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重及び虐待防止について、中山の園グループのすべての職員が理解を深めていく必要があることから、各施設・事業所の人権侵害自己チェックの状況を共有し、必要な助言を行います。また、グループ全体が人権尊重等の理解を深めるため、研修の機会を提供します。

2 安心・安全なサービスの提供

利用者個々の状態に応じた支援スキルの向上を図るためのグループ内研修を積極的に行います。

福祉サービス提供の基礎となる各種法令や個別支援計画の重要性、会計・契約事務等の適正な実施に関する制度の理解について研修の機会の確保や日々のOJTによる取組みを強化します。

施設の経年劣化に対応するため、随時の点検を実施し迅速な修繕により、利用者の安全・安心なサービスを提供していきます。

新型コロナウイルス感染症等、感染防止対策を継続し、グループ全体での情報の共有、注意喚起等を通じて、利用者の健康保持に努めます。

3 食生活の充実と健康保持への配慮

高齢化等により身体機能が低下している利用者に対し、給食委託業者と連携して、利用者個々の食形態・嗜好に配慮した食事提供、食中毒の防止に取り組みます。

また、看護師、栄養士、支援職員の間で、日々変化する利用者の健康状態等を共有し、食事の提供、通院・看護、生活支援等に的確・迅速に対応し、利用者の健康保持に努めます。

4 地域福祉の推進

中山の園グループ各施設、事業所が実施している地域公益活動や地域交流事業等が、地域の福祉ニーズにマッチしたものとなるよう、必要な調整等を行います。

さらに、地域のセーフティネットとして、様々な生活課題等を抱える方々を支援するため、相談支援事業所や援護の実施者等と連携を図り、短期入所や日中一時支援の受入れを調整し、地域の福祉を推進します。

5 働きがいのある職場づくり

職員の心身の健康を維持し、職場への定着や職員の確保に繋げるため、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりやグループ内の研修や座談会等を通して、グループ全体のチームワークを高め、働きがいのある職場を目指します。

また、WEB等を活用し、中山の園グループの情報を発信してイメージアップを図り、職員の確保に繋がります。

6 経営の安定・強化

安定した収益を確保するため、新規利用者の受入れを進め利用率の向上や各施設・事業所と情報共有を図りながら共通経費（電気・水道・A重油・管理整備経費等）の効率化を図り、経営の安定・強化に努めます。

また、職員の経営意識の醸成を図るため、決算分析・給付費に係る学習会を実施します。

7 改築整備に向けた検討の推進

県の中山の園整備基本構想を踏まえ、高齢障がい者を含めた多様なニーズに対応できる障害者支援施設の改築整備となるよう、県が設置するワーキンググループ等において必要な意見を述べるなど、県の整備計画推進に協力します。